

こども会議通信

Vol.04

2019.2.18

商品づくりで大忙し。

2月2日（土）第4回こども会議が開催され、34人の子どもたちが集まってくれました。今回の会議の目標は、お金(ドキ)の流れとお店とお店の関係をつくることです。

▼前回のふりかえり

まちのコンセプトを、区長さんに読んでみんなで音読しました。久しぶりに集まったからか、少し恥ずかしそうにしながらも、しっかりと音読していたのが印象的でした。



コミュニケーションゲームの様子。

▼コミュニケーションゲーム

前回と同様に2人1ペアになって、好きなもの、嫌いなものと同じであれば1ポイント獲得し、ポイントを得るだけ多く獲得する「おんなじおんなじ」ゲームをしました。活動に入る前にコミュニケーションゲームを行うと、空気も明るくなり、子どもたちの笑顔も多くなりました！

▼商品を考える

「自分のお店でどのようなことをすれば、まちのコンセプトに近づけるのか」「自分の理想のお店にするためには何が必要なのか」等考える時間。まず、自分のお店に必要なものを考えた後、配られた



素材を見つけて、商品をつくっていきます。

こどものまちオリジナル通貨「ドキ」200ドキ分を使って、商品を作るために必要な材料を「おとなファクトリー」から購入しました。どのお店の店長も、色々な材料がある中、真剣に選んでいました。

▼お店の配置を決める

お店の代表者が集まり、似たもの同士のお店が集まった方がいいのか、バラバラにする方がよいのか



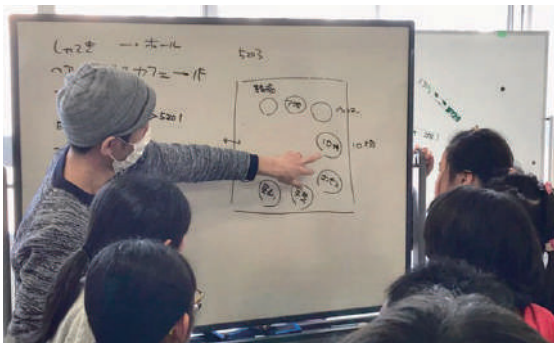
大学生ともディスカッション。

▼今回のこども会議について
第5回こども会議は、2月16日（土）に北区役所で開催します。区長から一言！「次のこども会議で最後になるので、風邪など引かないように、元気に来てください！」との注意がありました。いよいよ、こどものまち当日まであと少し、次回で、まちの仕組みやお店で売るものや内装などが決まります。発展途上のまちなので、工夫のしがいがある、みんなが合いが十分です。

おみせの準備室

「お店の配置を考える」

今日の会議では、各店舗の代表が集まって、まちのどこにお店を配置するのか、話合いました。話しを進めるのはこども区長。去年のお店の配置も参考にしながら、公的機関は6店舗まとめて1階の部屋に、コンビニや10均などの一般の店舗は一番大きな「メイン会場」へ配置することになりました。ここまではスムーズに決まったのですが、困ったのが映画館とお化け屋敷。どちらのお店も暗がりで運営するのは同じですが、1つの部屋を区切って2店舗にしてもいいのか、別の配置にするか悩んでいました。映画館の「周りの音が気にならないようにしたい。」という意見と、お化け屋敷の「外から



の光が入らないようにしたい。」という意見がぶつかりました。お互いにアイデアを出してみるのが、なかなか意見がまとまりません。そこで他のお店にも事情を話して、最終的にはそれぞれのお店が1部屋貸切で使えるように譲り合うことになりました。

スタンバイ

こども会議も当日まで残すところあと2回。それぞれのお店では商品づくりが本格化しています。そこで、今どんな商品やサービスを作っているのか、お店のPRポイントなどをこどもスタッフに聞きました。



お化け屋敷

お化け屋敷のPRポイントは「ストーリー仕立ての『世界観。』『ヒロの日記』という子どもたち自身が考えた物語に沿って進んでいくようで、ただ暗くして驚かすだけではなく、お客さんがより一層楽しめるようにと趣向をこらしています。

アクセサリ屋

アクセサリ屋さんでは「女の子だけではなく、男の子も楽しめるお店」にすることを目標にして商品づくりをしています。女の子に向けたアクセサリだけでなく、男の子向けのキーホルダーも用意して、来た人みんなが楽しめるような工夫を考えているところです。その他にも、2つ以上の商品を買った割引の制度を作ってみたりして、自分たちのお店をどう楽しんでもらうか一生懸命考え中です。

どこが、いい？

お店の位置を決める会議で、各お店の代表が集まって真剣に話し合った一幕です。

どこにお店を置くかで、できることやお客さんの数に大きく影響するとあって、

白熱した意見のぶつかりがありました！

最終的には、みんなが納得したお店の配置が決まり、

本番に向けてのスパートが始まりました！

北区 ニコニコ
北っ子
こども
のまち